

変わろう・変えよう・産業と暮らし
第4期高知県産業振興計画 Ver.4

～ みんなが主役 高知の元気発進プロジェクト ～

《地域アクションプラン》(案)
高知市地域抜粋版

令和5年1月

高 知 県

3 高知市地域

(1) 地域の産業を取り巻く状況

高知市地域は「平成の大合併」により、都市部を中心とした県域の中核機能に加え、田園地域と中山間地域を併せ持つ都市となりました。

総人口は、令和2年の国勢調査では326,545人で、県全体の4割余りを占めています。65歳以上の高齢者の比率は、県平均を下回っているものの、他地域と同様に高齢化が進行しています。

総生産額は県全体の5割近くを占めていますが、部門別の構成比は、第3次産業が約9割という突出した形になっています。

令和2年度に未曾有の事態を引き起こした、新型コロナウイルス感染症は終息の兆しが見られない中、各産業分野において、新型コロナウイルス感染拡大防止をさらに徹底しつつ、急速な産業構造の変化に対応し、社会経済活動の回復との両立を図りながら、産業の活性化に向けて取り組みを進めています。

農業分野については、平野部では、水稻や野菜、花き等の施設園芸を主体とする営農形態となっています。北部の中山間地域では、地理的な特性を生かして、ユズや四方竹の生産・加工、有機・無農薬栽培による野菜づくりなどが行われ、大消費地に近い地の利を生かして、直販所や街路市等を通じた地産地消の取り組みが進められています。

畜産業分野については、南部の里山地域と北部の中山間地域において、養鶏と酪農経営が行われ、生産される畜産物の大半は県内で加工・販売・消費されています。また、一部の経営体では牧場直営によるスイーツの製造販売など6次産業化に向けた取り組みも行われています。

林業分野については、総面積の約60%を占める森林の約半分が杉やヒノキといった人工林であり、林道、作業道等の基盤整備や森林組合を中心とした間伐などが進められていますが、木材価格の低迷をはじめ、担い手の高齢化などによる後継者不足等の課題があります。

また、近年整備された大型製材工場や木質バイオマス発電施設等への安定供給を行いながら、さらなる木材の増産を図るため、林業事業体の生産体制の強化や、高性能林業機械の導入、路網整備等による生産性の向上が求められています。

特用林産物であるイタドリについても県内各地へ生産地域の拡大や新商品の開発に向けた取り組みも行われています。

水産業分野においては、魚価の低迷や漁場環境の悪化、燃油・資材の高騰、担い手の高齢化などにより、漁業者の経営環境が厳しさを増しています。

商業分野については、特に中心商店街や近隣商店街では、郊外型大型商業施設の増加や商店街の核店舗の減少、消費者の購買方法の多様化などにより、空き店舗の増加や歩行者通行量の減少など厳しい状況が続いていますが、複合施設や高知城歴史博物館、新図書館等複合施設「オーテピア」、大型宿泊施設等に加えマンション建設が相次ぎ、状況が好転しております。製造業は、機械、食料品、鉄鋼や製紙業等を中心に操業が行われ、高い技術力によって全国展開している企業もあり、新商品の開発や販路を活力のある近隣地域、県

外・国外に求める地産外商に取り組んでいます。

観光面では、「高知城」や「はりまや橋」、「桂浜」などの名所、「よさこい祭り」をはじめとする様々なイベントのほか、「坂本龍馬」「長宗我部元親」などの「歴史」や「食」など、本県を代表するような観光資源を多く有しています。また、効果的な情報発信や周辺地域との広域での連携に加え、龍馬ゆかりの地を巡るまち歩きや市場見学、写経などの体験型・着地型観光の取り組みも進んでいます。

一方、年々増加していた大型外国客船の寄港については、新型コロナウイルス禍で中止が余儀なくされる中、再開後の対応策として関係者等による受け入れの準備、ガイドライン・マニュアル等の整備が進んでいます。

(2) 地域アクションプランの概要

高知市地域では、県都・中核市としての都市機能や役割を十分に果たしつつ、主要農産物の振興に加え、それらを生かした6次産業化の促進や中心市街地の活性化、歴史・文化・自然・食を体感できる観光振興などの取り組みを進めていきます。

分野別にみると、農業分野では、県内一の生産を誇るキュウリや日本一の産地であるグロリオサをはじめ、新ショウガなどを独立した項目として位置づけ、それぞれの各事業主体が、より強力に進めていきます。中山間地域では、基幹品目であるユズ・四方竹の振興に加え、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心に展開する「まるごと有機プロジェクト」の推進などにより、山の恵みを所得につなげる地産外商の取り組みを一層促進します。また、引き続き地域の生産と消費の交流の拠点としての直販所の活性化を図っていきます。

林業分野では、原木素材生産量の増大を目指すとともに、イタドリの高知市地域内外における生産拡大や生産者と食品メーカー等との連携による新商品の開発・販売などにより、高知県産イタドリのブランド化を進めます。

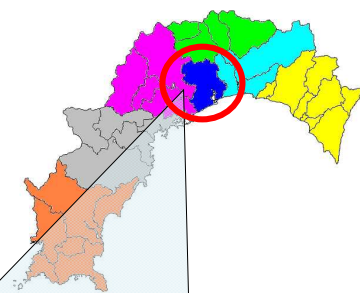
商工業分野では、春野地区の農産物加工品の開発・販売拡大の取り組みや民間活力を生かした6次産業化の支援体制づくり、また、防災食の製造などの食品加工の取り組みを一層推進し、県内中山間地域の産業創出につなげるよう関係機関等と連携して取り組みます。

また、高知市中心市街地活性化基本計画に位置づけられたハード・ソフト両面の取り組みを高知市をはじめとする官民の各事業主体が具体的に推進することにより、県都中心部の活性化を図っていきます。

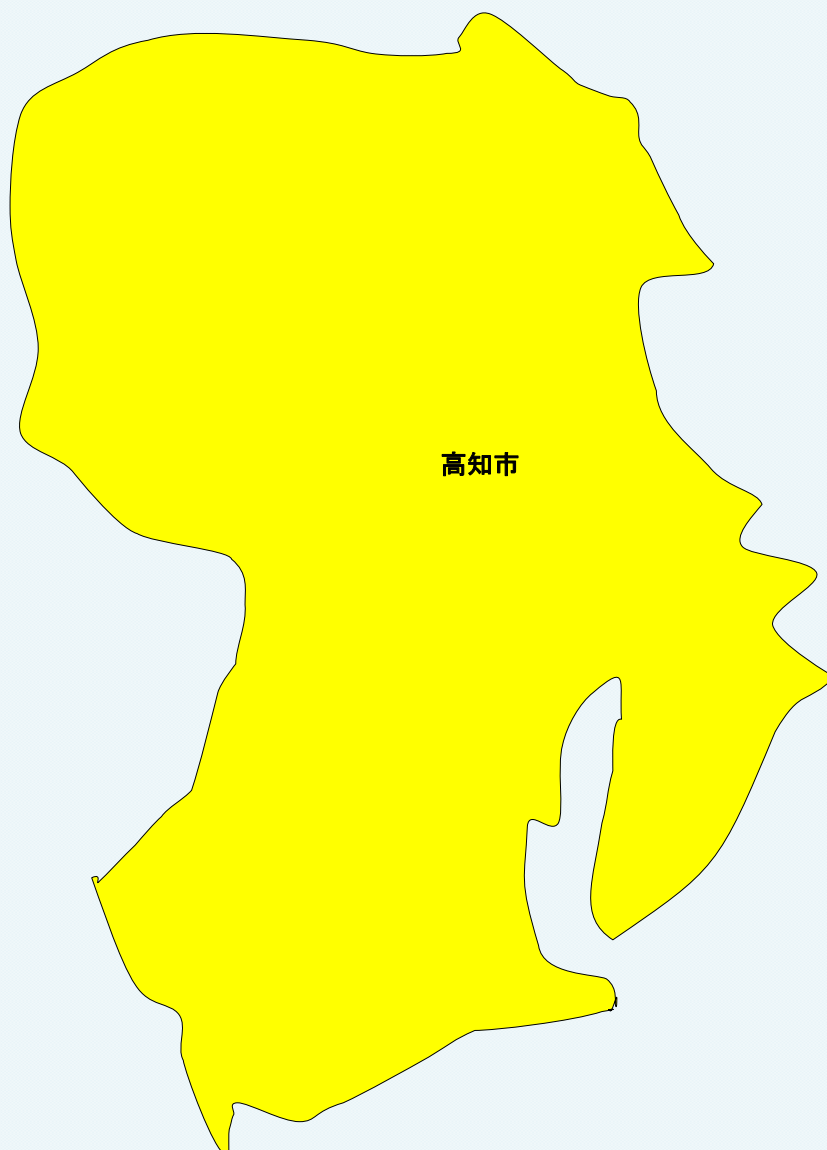
観光分野では、高知市を代表する観光地・桂浜とその周辺地域が一体となった新たな魅力の創出や県内市町村との連携による新たな観光資源や周遊ルートの開発をはじめとする広域観光の推進などを進めていきます。また、「よさこい祭り」や、坂本龍馬をはじめとする「土佐の偉人」、観光客に評価の高い「食」などをテーマとしたまち歩きや効果的なイベントの展開、情報発信の仕組みづくりなどにより、土佐の観光の拠点としての役割を果たしていきます。

(3) 具体的な取り組み

No.	項目
1	キュウリの生産販売対策の強化による産地振興
2	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興
3	新ショウガの生産振興
4	ユズを核とした中山間農業の活性化
5	四方竹のブランド化による中山間地域の振興
6	「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興
7	直販店を核とした鏡地域の活性化
8	加工品充実による直販所の活性化と食の伝承
9	高知市の原木増産の推進
10	イタドリの外商推進による中山間地域の振興
11	春野地区の農産物の付加価値向上
12	竹資源活用クラスタープロジェクト
13	防災食の開発・製造・販売
14	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
15	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
16	近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進
17	本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展
18	桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興
19	浦戸湾を活用した観光の振興
20	土佐の偉人を生かした観光の振興
21	食による観光の推進



【高知市地域】



1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14、15、16、17、18、19、20、21

AP名 (実施地域)	No.1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興 (高知市)
実施主体	◎JA 高知県 (春野地区営農経済センター)、◎JA 高知県 (春野地区胡瓜部会)
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	県内一のキュウリ産地の課題解決に取り組み、産地基盤の強化と農家所得の向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
出荷量※	10,345t (R元)	10,172 t	10,364t	10,293 t	12,700t

※園芸年度：前年9月～8月

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆生産の収量・品質向上対策

- ・有利品種の探索と導入 (H21～25)
- ・品質向上対策 (H21～)
- ・黄化エソ病対策 (H21～)
- ・優良苗の確保 (H22～23)
- ・環境制御技術の導入推進 (H28～)
- ・集出荷場 GAP 点検 (H29～)

◆担い手の確保・育成

- ・新規就農者の確保育成 (H25～)
- ・労働力確保対策 (H28～)

<主な成果>

◆生産の収量・品質向上対策

- ・環境測定農家 H28:23戸 → R3:71戸
- ・炭酸ガス施用農家 H28:22戸 → R3:62戸

◆担い手の確保・育成

- ・新規就農者 15名 (R3)
- ・JA 高知春野無料職業紹介所開設 (H30)

<課題>

- ・高収量・高品質化に向けた取り組みのさらなる拡大
- ・産地全体の経営管理意識の向上

第4期計画における工程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆生産の収量・品質向上対策	<p>IPM 技術の推進</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（春野地区営農経済センター）、JA 高知県（春野地区胡瓜部会）： 現地検討会・勉強会の実施、天敵導入農家の支援 ● 県（高知農業改良普及所等）： 天敵導入農家の課題整理、病害 IPM 技術の実証・普及、天敵と病害防除を組み合わせた IPM 技術の普及 				
	<p>収量向上・生産の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（春野地区営農経済センター）、JA 高知県（春野地区胡瓜部会）： スマート農業導入の検討、環境制御技術の導入推進、省力化技術の導入、現地検討会の実施 ● 県（高知農業改良普及所等）： スマート農業に関する情報収集・導入の支援、環境制御技術の導入推進、省力化技術の実証・普及 				
◆担い手の確保・育成	<p>GAP の推進</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（春野地区営農経済センター）、JA 高知県（春野地区胡瓜部会）： 集出荷場 GAP、生産者 GAP 点検の継続 ● 県（高知農業改良普及所等）： 集出荷場 GAP 点検の支援、生産者 GAP 点検シート様式の見直し、生産者 GAP 点検シートの分析、改善策の検討と普及 				
	<p>新規就農者の受入強化</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（春野地区営農経済センター）、JA 高知県（春野地区胡瓜部会）： 就農支援チーム会活動、新たな受入体制の検討及び実施、研修生への支援 ● 県（高知農業改良普及所等、農業担い手育成センター）、市（農林水産課、春野地域振興課）： 事業活用への支援、就農支援チーム会活動、新たな受入体制の検討及び実施、研修生への支援 				
	<p>経営管理意識の向上</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（春野地区営農経済センター）、JA 高知県（春野地区胡瓜部会）： 新規就農者への就農支援、基礎データの提供、研修会等の開催、担い手への個別経営支援、既存農家への経営管理意識の啓発 ● 県（高知農業改良普及所等）： 新規就農者への経営安定支援、経営分析・診断、研修会等、担い手への個別経営支援、既存農家への経営管理意識の啓発 				
<p>【用語】 ・IPM：「Integrated Pest Management」の略。病害虫の防除に関し、利用可能なすべての防除技術を利用し、経済性を考慮しつつ、適切な手段を総合的に講じる防除手法のこと ・GAP：「Good Agriculture Practice」の略。生産・農産物の安全を確保するため、決められた農業規範に基づいて行動すること</p>					

AP名 (実施地域)	No.2 グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興 (高知市)
実施主体	◎JA 高知市、◎JA 高知市三里園芸部花卉部会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	需要の高いサザンウインドの生産拡大を進め、輸出を含めた実需者ニーズを満たす販売対策を強化し、日本一のグロリオサ産地の活性化と農家所得の向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1)販売額※	6.03 億円 (R元)	5.0 億円	4.7 億円	5.0 億円	6.5 億円
(2)秀品率※	52.7% (R元)	45.8%	47.5%		55%

※園芸年度：前年9月～8月、秀品率はサザンウインドのみ

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆基本技術の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新品種サザンウインドの栽培技術の確立 (H21～) ・勉強会(病害虫)開催(H28～30) ・高温対策資材による実証ほ調査(H28～30) ・農薬散布の実態調査及び適切な散布方法等の指導(R3) <p>◆流通・販売対策(輸出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外への販売会議(2回/年) ・県内外の展示商談会への参加(H30～R元) ・切り花品質の向上へ向けた鮮度保持試験(輸送、水質調査)(H30～R2) ・GFP グローバル産地づくり推進事業の活用 球根養成ほ場の設置及び調査 (R2～) 輸出専用給水剤充填機の導入 (R2) 輸出事業計画の策定 (R3) ・次世代国産花き産業確立推進事業※を活用した海外輸出 輸送シミュレーション試験 (R2) <p>※R3年度よりジャパンフラワー強化プロジェクト推進に名称変更</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンフラワー強化プロジェクト推進の活用 簡易蒸し込み処理によるミカンキイロアザミウマ対策実証試験 (R3) ・フロリアード 2022 への出展(R4) 	<p><主な成果></p> <p>◆基本技術の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サザンウインド生産割合 H27 園芸年度：76% → R3 園芸年度：88% <p>◆流通・販売対策(輸出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出本数 H27 園芸年度：5.3 万本 → R4 園芸年度：20 万本 ・'カプリソロゼ'出荷本数： - (R元園芸年度) → 2.9 万本 (R4 園芸年度) ・輸出事業計画の認定 (R3) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学農薬のみに頼らない総合的な病害虫管理 ・輸出に対応した品質の保持

第4期計画における工程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆基本技術の徹底					
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知市、JA 高知市三里園芸部花卉部会： 勉強会、現地検討会、目慣らし会の実施 ●県(高知農業改良普及所等)： 先進地への視察、勉強会、現地検討会の実施、県や国の有望事業等の紹介 				
◆流通・販売対策 (輸出)					
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知市、JA 高知市三里園芸部花卉部会： 流通(輸出)に関するセミナーや講習会への参加、展示商談会への出展、輸出注文分欠品率調査、輸出用グロリオサ定植検討会、フロリアード 2022 への出展 ●県(高知農業改良普及所等)： 鮮度保持試験の実施(県内外、国内外)、展示商談会への出展、市場調査 				
<p>【用語】 ・GFP：農林水産省が推進する、農林水産物・食品輸出プロジェクト (Global Farmers/Fishermen/Foresters/Food Manufactures Project の略語) ・フロリアード：10年に1度オランダで開催される国際園芸博覧会のこと</p>					

AP名 (実施地域)	No.3 新ショウガの生産振興 (高知市)
実施主体	◎JA 高知県 (春野地区営農経済センター)、◎JA 高知県 (春野地区生姜部会)
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	県内一の新ショウガ産地における品質向上および新しい栽培技術の検討により、産地の安定化と農家所得の向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
売上高※	8.64 億円 (R元)	8.21 億円	8.72 億円	7.73 億円	8.70 億円

※園芸年度：前年9月～8月

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆品質向上対策

- ・ショウガ洗浄水の循環再利用装置を導入(H25.3月)
→H24年度こうち農業確立総合支援事業の活用
(事業費 396.6万円)
- ・腐敗事故対策の実施 (H25～)
- ・出荷場 GAP点検の実施 (H29～)

◆新たな栽培技術の検討

- ・ファインバブル施用試験 (H25～30)
- ・炭酸ガス施用試験 (H26～R元)
- ・栽培技術の高位平準化
栽培マニュアル作成 (R2～3)

<主な成果>

- ◆洗浄水の循環再利用装置導入により、水不足による出荷調整作業のロスを解消
- ◆腐敗事故の減少
H26園芸年度：20件 → R4園芸年度：0件

<課題>

- ・生産者が減少する中での出荷量・品質の維持
- ・新たな栽培技術の確立

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆品質向上対策</p>	<p>腐敗事故対策とGAPの連動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県春野営農経済センター、JA 高知県春野生姜部会：腐敗事故への対応（原因究明と再発防止策の実施）、GAPの実践 ●県（高知農業改良普及所等）：県版GAPと腐敗事故対策の連動、GAPの実施状況チェック、普及方法の検討、情報提供 				
<p>◆新たな栽培技術の検討</p>	<p>炭酸ガス施用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県春野営農経済センター、JA 高知県春野生姜部会：実証試験 ●県（高知農業改良普及所等）：実証試験、技術普及に向けた検討情報提供 	<p>その他技術の検討と普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県春野営農経済センター、JA 高知県春野生姜部会：実態調査、新技術の検討、実証試験、栽培環境の検討 ●県（高知農業改良普及所等）：実態調査、新技術の検討、実証試験、栽培環境の検討、情報提供 			

【用語】・県版GAP：農林水産省のガイドラインに準拠した高知県版のGAP（Good Agricultural Practice：良い農業の実践）

AP名 (実施地域)	No.4 ユズを核とした中山間農業の活性化 (高知市)
実施主体	◎高知市土佐山柚子生産組合、◎JA高知市、◎土佐山ファクトリー(協)、 ◎旭フレッシュ(株)、◎高知市
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大と高品質化、スマート農業技術の導入、後継者の育成等により経営の安定を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) ユズ販売額※	1.6億円 (H30)	1.7億円	1.4億円		1.9億円
(2) ユズ精油等販売額	3,877万円 (H30)	3,724万円	3,032.7万円		4,900万円

※暦年

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆安定生産

- ・搾汁施設の整備(H21)
- ・現地検討会など年6回の集合研修(H21～)
- ・優良複製母樹の確保と技術指導(H21～30)
- ・短棘優良系統の試験と導入(H25～)
- ・未活用果皮の利用を図るための搾汁残渣加工施設(ユズ精油の抽出)を整備(H28)
→H28 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用(事業費 1.03億円)
- ・土佐山柚子加工調整施設の県版 HACCP 第3ステージ認証取得(R元)
- ・新しい青果用選果機の導入(R元)
- ・ドローン航空防除試験(R元～)
- ・自動コンテナ洗浄機の導入(R2)
- ・プレ選果機の導入(R3)
- ・土佐山柚子加工調整施設へ冷凍庫追加整備(R3)

◆生産基盤の維持

- ・ユズ園の状況把握のためのユズ生産者台帳やユズマップの作成作業(H25～27)
- ・産地計画の作成(H28、R4)
- ・「ユズバトン隊」の育成(H29～R元)
- ・指導農業士の育成(H29～)

- ・産地提案書の作成と新規農業者の勧誘(H30～)
- ・新規就農者の研修会「ユズの学校」活動(R2～)
- ・果樹経営支援対策事業による新植・改植、園内道の整備(H30～)

◆産地のブランド化

- ・ゆず祭りの開催(H30～)

＜主な成果＞

◆雇用の創出

- H21：12人(パート12人)
→R3：14人(正規3人、パート11人)

◆指導農業士3名認定

◆新規就農者3名確保

◆ドローン防除8.4ha(R4)

◆ユズ未活用果皮

- H24～26平均：111t → R2：0t

＜課題＞

- ・スマート農業技術の導入による省力化
- ・青果出荷の拡大や優良系統ユズの導入拡大等による生産の安定
- ・核となる担い手の育成や産地ビジョンの見直し、実践による生産基盤強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆安定生産	技術力向上、先端技術導入による安定生産				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市土佐山柚子生産組合、JA 高知市： スマート農業技術の導入検討、青果出荷の拡大、栽培技術講習会の実施、短棘系等優良系統ユズの導入 ●県（高知農業改良普及所等）： スマート農業技術の導入検討、青果出荷者への技術支援、栽培技術講習会での指導、短棘系等優良系統の情報提供 				
◆生産基盤の維持	搾汁残渣加工施設によるユズ製油等の安定生産				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐山ファクトリー(協)： 搾汁残渣加工施設の安定的な運用 ●県(地域本部等)： 県工業技術センター等による技術的な支援の調整等 				
◆産地のブランド化	生産面積の拡大と担い手の確保・育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市土佐山柚子生産組合、JA 高知市： 果樹経営支援対策事業の活用、担い手対策の検討と実行 ●県（高知農業改良普及所等）： 果樹経営支援対策事業の情報提供、担い手対策の検討と実行 				
	産地ビジョンの見直し・作成		産地ビジョンの実践		
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市土佐山柚子生産組合： 産地ビジョンの作成 ●県（高知農業改良普及所等）： 産地ビジョン作成の指導 		<ul style="list-style-type: none"> ●高知市土佐山柚子生産組合： 産地ビジョンの実践 ●県（高知農業改良普及所等）： 産地ビジョン実践の指導 		
協議会の取り組みの強化					
<ul style="list-style-type: none"> ●高知市土佐山柚子生産組合、旭フレッシュ(株)、JA 高知市、高知市： ゆずまつり等 土佐山のPR活動 ●県（地域本部等）： PR イベント等の情報発信 					

AP名 (実施地域)	No.5 四方竹のブランド化による中山間地域の振興 (高知市)
実施主体	◎JA 高知市特産部会（七ツ瀧筍加工組合、土佐山四方竹生産組合、鏡特産部会）、 ◎(一財)夢産地とさやま開発公社
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	全国的に希少性の高い四方竹を高知県のブランド品として育て、中山間地域の産業として振興するため、担い手を確保し、加工施設の衛生管理等により、安全と安心の促進を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
販売額	4,000万円 (5ヵ年平均)	4,337万円	4,697万円		4,000万円

これまでの主な動き

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市四方竹振興計画の策定（H25） ・放棄園及び園地マップの個票整理（H25） ・自動選別機の導入及び導入後の改善(H25～30) <p>◆加工施設の衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐山四方竹生産組合の加工場新設（H25） 冷水機の導入（H24・5台） ・七ツ瀧筍加工組合の加工場拡張・改善（H22～30） 製氷機の導入（H22） 冷水機の導入(H24・4台) HACCP・GAPの研修会(R2、R3) HACCPの試行(R2) HACCPの実施(R3～4) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・選別作業の自動化：自動選別機の開発と導入（7台） ・消費期限の改善：1日延長（七ツ瀧、土佐山とも7日間） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手確保対策および経営基盤の整備 ・HACCP・GAPの改善

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆担い手の確保					
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知市特産部会： 四方竹マップの修正、放棄される園のリストアップ、中山間担い手確保育成チームへの参画 ●県（高知農業改良普及所等）： 四方竹マップの修正、放棄される園のリストアップ、中山間担い手確保育成チーム会の実施、産地提案書の作成支援、人・農地プラン及び中山間地域等直接支払いの集落戦略などの作成支援 				
◆加工施設の衛生管理					
<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知市特産部会・（一財）夢産地とさやま開発公社： HACCP・GAP の知識の習得、試行、実践 ●県（高知農業改良普及所等）： HACCP・GAP の情報提供、取り組み指導、チェック活動 					
<p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人・農地プラン：地域における担い手と農地の課題の解決を図るため、話し合いにより地域の将来のあり方についてプラン化するもの ・中山間地域等直接支払制度：農業生産条件の不利な中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理し、それにしたがって農業生産活動を行う場合、国から面積に応じて一定額を交付する仕組みのこと。令和2年度から開始する次期対策においては、集落の将来像を明確化した「集落戦略」を作成することで、交付単価10割が交付される ・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を確保しようとする食品の衛生管理手法のこと ・GAP：「Good Agriculture Practice」の略。生産・農産物の安全を確保するため、決められた農業規範に基づいて行動すること 					

AP 名 (実施地域)	No.6 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興 (高知市)
実施主体	◎(一財)夢産地とさやま開発公社、連携農家
AP への 位置づけ	H21.4月
事業概要	(一財)夢産地とさやま開発公社を中心として、有機・無農薬野菜などの生産と販売および加工品の開発・販売の取り組みを通じて農家所得の向上と地域の活性化を図り、土佐山百年構想を推進する。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
販売額	1.73 億円 (H30)	1.78 億円	1.82 億円		2.1 億円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の確立・普及(H21～) ・加工品の開発・販売(H21～) ・ショウガの有機 JAS 認証取得(H21) ・肥料を製造する土づくりセンターの増強整備(H24) <p>◆農家及び公社の所得向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家からの庭先集荷による野菜の集荷販売(H21～) ・有機、無農薬農産物(ユズ・ショウガ・ジャガイモ等)の生産販売(H21～) ・中山間農業複合経営拠点事業戦略の策定(H29) ・アグリ事業戦略サポートセンターによる事業戦略の実行フォロー(R 元) ・産業振興アドバイザーの活用による公社全体の収支改善計画の策定(R 元) ・産業振興アドバイザーの活用によるコロナの影響を踏まえた収支改善計画の見直しと対応策の検討(R2～) ・産業振興アドバイザーの活用による収支改善に向けた取り組み (R3～4) <p>◆加工施設の活用による加工品の開発・製造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐山ジンジャーエールの開発・製造(H23～) ・四方竹加工場稼働開始(H26) ・スイーツ加工施設整備・稼働開始(H28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・清涼飲料水製造業で県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得(H30) ・自動液体充填機及び自動ラベル貼り機の導入(R2) <p><主な成果></p> <p>◆雇用の創出</p> <p>H20:11 人(正規 3 人、パート 8 人) →R3:39 人(正規 12 人、パート 23 人、短期 4 人)</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機農産物の強みを生かしたセールスの強化 ・コロナ禍による飲食事業の落ち込みを補うため、スイーツ事業の各店舗及び EC 販売を強化 ・既存商品のブラッシュアップ及び新商品の開発によるラインナップの充実 ・人員体制の強化(商品製造・開発等) ・加工場の増産体制の構築及び衛生管理の高度化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大	公社による栽培技術の調査研究、生産農家への栽培技術の普及				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一財)夢産地とさやま開発公社： 有機農業の普及、新規作物の試験栽培、生産農家への栽培技術指導 ●県（地域本部等）： 農業部門による栽培技術指導 				
◆農家及び公社の所得向上	生産農家及び公社による有機農産物の生産拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一財)夢産地とさやま開発公社、生産者： 公社圃場及び遊休地、耕作放棄地の活用 ●県（地域本部等）： 産地提案書による新規就農者の確保・育成 				
◆農家及び公社の所得向上	有機・無農薬農産物の販売				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一財)夢産地とさやま開発公社： 庭先集荷による農家野菜等の販売、農産物の加工販売 ●県（地域本部等）： スマート農業技術等の導入支援 				
	新たな事業計画の策定	経営安定化に向けた事業計画の実行			
◆加工施設の活用による加工品の開発・製造	加工品の安定生産、新規加工品の開発・製造				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一財)夢産地とさやま開発公社： 高性能製造設備の有効活用、新規加工品の開発・製造 ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザー導入による支援(新商品開発等) 				
	加工品の販路の開拓・拡大				
<ul style="list-style-type: none"> ●(一財)夢産地とさやま開発公社： 県内外商談会等への出展、インターネット販売の促進、SNSによる情報発信 ●県（地域本部等）： 高知県地産外商公社への橋渡し、県外商談会等の紹介・情報提供 					

AP名 (実施地域)	No.7 直販店を核とした鏡地域の活性化 (高知市)
実施主体	◎鏡村直販店組合「鏡むらの店」
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	鏡村直販店組合「鏡むらの店」(万々店、リオ店)は組合員により鏡地域の野菜や果物が出荷されている。同組合と関係機関が連携して栽培推進品目を選定し、積極的な栽培支援による生産力向上や、販売強化の支援を進め、販売額及び組合員の所得向上を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
販売額	1.45億円 (R元)	1.46億円	1.34億円		1.7億円

※暦年

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆推進品目の栽培推進

- ・高知市近代化施設整備事業で新 POS システムを導入(H29)
- ・POS 分析結果を情報共有するチーム会の開催(H30～)
- ・直販所活性化セミナーに参加し、直販店の課題・対応策を検討 (R元)
- ・品薄時期対策として、旧鏡村以外から冬季のトマト(H28)や春先のキュウリ(H28)、梨・柿・リンゴの果物(R元～)を確保
- ・推進品目のうち、ホウレンソウ実証試験(R2)、ブロッコリー実証試験(R3)、ネギ実証試験(R4)
- ・栽培経験の少ない組合員等への個別指導(R2～)
- ・新規栽培者を掘り起こすための普及所だよりの発行(R2～)

◆販売・経営対策

- ・顧客ニーズ把握のためのアンケートや需給改善の分析等の実施 (H24～25)
- ・料理教室や販促イベントの実施 (H25～29)
- ・産業振興アドバイザーを導入し SNS 研修会を実施(H26～28)
- ・食品衛生法の改正に関する情報提供(R2～R3)
- ・直販所活性化セミナーフォローアップセミナー開催(R2)
- ・広報用Instagram導入支援 (R3～)

＜主な成果＞

- ・新規組合員 6 名加入(H26～累計)
- ・野菜部門の R2 年対前年比 101.4%
R3 年対前年比 89.7%

＜課題＞

- ・生産農家の高齢化による出荷量および販売額の減少
- ・消費者ニーズに対応した販売・経営対策
- ・高齢化および時給高騰による店員不足

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆推進品目の栽培推進	<div style="background-color: #4F81BD; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 推進品目の選定と栽培の支援 </div>				
	<div style="border: 1px solid #4F81BD; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●直販店 鏡むらの店： 推進品目の周知 ●県（高知農業改良普及所等）： 栽培講習会 新規栽培者の掘り起こし POS分析・ニーズ調査・加工向け品目の検討 </div>				
◆販売・経営対策	<div style="background-color: #4F81BD; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 販売商品の充実 </div>				
	<div style="border: 1px solid #4F81BD; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●直販店 鏡むらの店： 旧鏡村地域以外から品薄時期の商品確保の検討・実践 ●県（地域本部等）： 情報提供及び関係者への橋渡し、POS分析による助言 </div>				
	<div style="background-color: #4F81BD; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 経営体制強化 </div>				
<div style="border: 1px solid #4F81BD; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●直販店 鏡むらの店： 直販所活性化セミナー、各種研修等への参加及び実践による経営体制の強化 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供、セミナー等の紹介、POS分析による助言 </div>					

AP名 (実施地域)	No.8 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承 (高知市)
実施主体	◎ J A 高知市女性部直販部会 (直販所「真心ふぁーむらぶ」)、◎加工組織なるクラブ
APへの 位置づけ	H24.4月
事業概要	J A 高知市の直販所「真心ふぁーむらぶ」では、地域の農産物に加え、加工組織「なるクラブ」が地域農産物を加工した惣菜を販売している。 加工品製造や商品開発などによる地産地消を推進する。地域住民の農業への関心を高め、地域農産物の消費拡大と田舎寿司などの伝統食の伝承を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
直販所売上高	9,200万円 (R元)	8,820.9万円	8,958.7万円		1億円

※暦年

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザーの活用による店舗改善 (H24～25) ・チーム会 (H27～29) ・農家レストラン開催(H24～) ・直販所事業戦略策定セミナーアドバイザーによる運営体制の見直しとレイアウト改善の提案(R2～R3) ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み (R2～) ◆ 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設「新婦人の家」の改修 (H25～26) ・産業振興アドバイザー活用による新メニュー開発 (H29) ・チーム会による POS 分析に基づく製造計画策定 (H26～) ・土佐の料理传承人に選定 (H30) ・6次産業化サポートセンター事業活用による経営分析、運営体制の見直し、新メニューの試作 (R2～) ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み (R2～) ・とさのさとへの出荷開始 (R2～)、新メニュー追加 (R4～) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆真心ふぁーむらぶ <ul style="list-style-type: none"> ・真心ふぁーむらぶ販売額 H27 : 7,460.9万円 → R3: 8,958.7万円 ◆なるクラブ <ul style="list-style-type: none"> ・H29 地産地消等優良活動表彰において、なるクラブの取り組みが中四国農政局長賞を受賞 ・なるクラブ販売額 H27 : 2,513.6万円 → R3 : 3,172.1万円 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆真心ふぁーむらぶ <ul style="list-style-type: none"> ・運営体制の見直しとレイアウトの改善 ・他の直販所との連携による商品の充実 ◆なるクラブ <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに合ったサービスの充実 ・既存商品の見直しと重点化による収益性の向上 ・おやつ等新商品の開発と商品の付加価値化 ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施 ・生産者の高齢化

第4期計画における工程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
◆ 直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大	<p>顧客サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直販所真心ふぁーむらぶ： 運営体制の見直しとレイアウトの改善 ●県（地域本部・高知農業改良普及所等）： 各種支援制度に関する情報提供、アドバイザーの紹介 			<p>他の直販所との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直販所真心ふぁーむらぶ： 他直販所との連携による商品の確保及び充実 ●県（地域本部・高知農業改良普及所等）： 各種支援制度に関する情報提供 		
	◆ 加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実					
	<p>既存商品の見直し・重点化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●加工組織なるクラブ： 売上げ実績に基づく月ごとの商品別製造計画、既存商品の重点化・効率化 ●県（高知農業改良普及所・地域本部等）： POS分析支援、セミナー等の紹介、チーム会での助言 					
	<p>衛生管理と HACCP 対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●加工組織なるクラブ： HACCP に沿った衛生管理の実施 ●県（地域本部・高知農業改良普及所等）： 支援制度の情報提供、チーム会での助言 					
	<p>新商品の開発及び販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ●加工組織なるクラブ： 消費者ニーズを踏まえた高付加価値商品の開発 ●県（高知農業改良普及所・地域本部等）： セミナー等の情報提供、チーム会での助言 					

AP 名 (実施地域)	No.9 高知市の原木増産の推進 (高知市)
実施主体	◎高知市森林組合
AP への 位置づけ	H21.4月
事業概要	搬出間伐を中心とした原木増産及び現場作業員の技術向上に取り組む。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
素材生産量	3,056 m ³ (H30)	2,373 m ³	2,392 m ³		4,200 m ³

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆事業地の拡大

- 管内市及び事業体に対する事業説明会及び勉強会開催(H21～)

◆生産性の向上

- 新規作業員の採用と、緑の雇用制度の活用(H21～)

◆作業員の技術力の向上

- 人工支柱の改造による作業システム改善 (H29)
- 皆伐から植栽の一貫作業実施 (H30)

<主な成果>

◆担い手の確保

- 林業学校卒業生採用：1名 (R2)
- 林業学校卒業生採用：1名 (R4)

<課題>

- 事業地の確保
- 生産性向上の推進
- 担い手の確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆事業地の拡大	森の工場の維持、拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市森林組合： 森の工場の継続、新規森の工場の拡大のための事業地掘り起こし 				
◆事業地の拡大	森林経営管理制度を通じた事業地の拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市森林組合： 森林経営管理制度による事業地の拡大（市町村森林経営管理事業、再委託事業） 				
◆生産性の向上	生産性の高い作業システムの活用促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市森林組合： 新たな作業システムの導入の検討及び導入 ●高知市森林組合： 事業地の集約化を進め、スケールメリットによる生産性の向上を図る ●県（林業事務所）： 高性能林業機械導入支援 				
◆作業員の技術力の向上	作業員の技術力向上				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市森林組合： OJT、林業大学校等による技術研修を推進、若手作業員の技術研修の実施 ●県（林業事務所）： 森林施業プランナー研修の支援 				

AP名 (実施地域)	No.10 イタダリの外商推進による中山間地域の振興 (高知市)
実施主体	◎高知県イタドリ生産普及販売促進協議会、連携農家
APへの 位置づけ	H29.4月
事業概要	出荷量において全国一であり、一般的に県内で食されているイタドリを県外に販売拡大していくため、栽培イタダリの県内産地を拡大するとともに、新商品の開発等を行うことにより高知県産イタダリのブランドを確立し、中山間地域における新たな雇用の創出を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
加工品の販売額	89.4万円 (H30)	113.9万円	192.6万円		1,000万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆産地強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業団体及び集落活動センター等を対象に栽培・加工イタドリ講習会の実施 (H29～) ・県内各地域へへの出前授業の実施 (H30～) ・「こうち農業確立総合支援事業」を活用して JA 高知市鏡支所に冷凍施設の整備 (R元) ・イタドリ摘葉試験の実施 (R元) ・森林技術センターによる品種選抜研究 (R3～) <p>◆ブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等における各種展示会等への出展(H29～) ・食品メーカー等による新商品の開発等 ・高知県食品工業団地事業組合、高知市においてイタドリ葉に関する特許出願中 (H31.3月～) ・JA 高知市女性部鏡支部による「イタドリ塩漬け(冷凍)」の県版 HACCP 第2ステージ認証申請 (R3) <p>◆組織体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会の設立 (H30) (構成員：高知県食品工業団地事業協同組合、食品メーカー、JA 高知市、JA 高知県、高知市、県) ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会役員会・総会の開催 (H30～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会において外商に向けた一次加工品の商品規格の統一 (H30) ・協議会会員の新規加入 (R2) (集落活動センター柳野、集落活動センターおおのみきた) ・持続可能な生産供給体制の検討および生産者間での協議 (R4～) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県内における新たな栽培地域数 H29：0地域 → R3：73地域 (累計) ◆高知県産栽培イタダリの認知度の向上 ◆イタドリを活用した新商品開発：6アイテム(H29～) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内栽培地域のさらなる拡大 ・市場ニーズにあった原料の確保 ・新たな商品の開発 ・外商に向けた組織体制の強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆産地強化	<p>高知市鏡地域等での産地強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●連携農家（JA高知市等）： 耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大、高知市鏡地域をモデルとするイタダリの産地化の県内展開、加工体制・施設の高度化 ●県（地域本部等）： 栽培・技術講習会の開催、産業振興アドバイザーの活用提案、イタドリ栽培マニュアルの普及 				
◆ブランド化の推進	<p>外商活動によるブランド化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県イタドリ生産普及販売促進協議会： 試作品づくり、商品改良、製造方法等の検討、商品改良、商品化の実現、商談会・展示会等への出展 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産業振興アドバイザーの活用提案、産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、各種支援制度に関する情報提供 				
◆組織体制の強化	<p>高知県イタドリ生産普及販売促進協議会の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県イタドリ生産普及販売促進協議会： 協議会メンバーの拡大、マスコミ等を通じたPR ●県（地域本部等）： 協議会参画によるアドバイス・情報提供、産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討、各種支援制度に関する情報提供 				

AP名 (実施地域)	No.11 春野地区の農産物の付加価値向上 (高知市)
実施主体	◎(有)スタジオ・オカムラ、連携農家
APへの 位置づけ	H22.4月
事業概要	地域内農産物を活用した新たな加工品を開発するとともに、当該加工品の新たな販路を確保し、農家所得の向上及び雇用の創出による地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
販売額	6,000万円 (H30)	5,754.7万円	6,655万円		9,400万円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆加工品の販路拡大と新たな商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物加工場の整備 (H23) →H23 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用 (事業費 7,110万円) ・PB商品、OEM生産の展開 (H25～) ・県内外での各種商談会に参加 (H24～) ・お中元、お歳暮へのギフトカタログ掲載 (H25～) ・低温乾燥設備の導入 (H26) ・ベルガモット加工品の商品開発：12商品(H27～) <p>◆加工に適した野菜等の生産体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用野菜の栽培技術確立支援 (H22～) ・衛生管理の強化に向け、県版 HACCP 第2ステージの認証取得 (H29) ・県版 HACCP 第3ステージの認証取得 (R2) 	<p><主な成果></p> <p>◆雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27: 2人 (正規2人) →R3: 5人 (正規3人、パート2人) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携農家の掘り起こし ・既存取引先を中心とした営業の強化による販売拡大 ・EC販売の強化 ・商品ラインナップの充実と主力商品の普及 ・加工品の増産体制の整備
--	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆加工品の販路拡大と新たな商品開発	販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)スタジオ・オカムラ： 各種商談会への参加、香料メーカーへの販路開拓 ●県（地域本部等）： 商談会等の紹介、関係者へ橋渡し 				
◆加工に適した野菜等の生産体制の整備	商品開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)スタジオ・オカムラ： OEM商品の受注拡大 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産業振興アドバイザーの活用提案 各種支援制度に関する情報提供 				
◆加工に適した野菜等の生産体制の整備	加工野菜等の生産体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)スタジオ・オカムラ： ベルガモット栽培技術の周知、香料原料の生産拡大 ●県（地域本部等）： 連携可能な生産者情報の提供 各種支援制度に関する情報提供 				

AP名 (実施地域)	No.12 竹資源活用クラスタープロジェクト (高知市)
実施主体	◎(株)コスモ工房、◎(同)高知竹材センター
APへの 位置づけ	H25.4月
事業概要	県産竹材を活用した素材生産や製品加工を拡大するとともに、竹材の集荷や一次加工、竹加工品の販売など竹資源を活用した新たな事業を展開し、竹産業の振興と中山間地域における雇用の創出を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
売上高	7,671万円 (H30)	9,058万円	7,144.2万円		1.1億円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆原竹の集材体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(同)高知竹材センター設立 (H28) ・土佐山地域にて、原竹の買い取り方法に関する地元説明会の実施 (H28～29) ・弘田竹材店(土佐市)にて、原竹の確保に向けた原竹買い取りに関する説明会の実施 (R元) <p>◆加工品製造の生産性の向上</p> <p>(株)コスモ工房</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二工場を土佐山に整備 (H27) ・自動車用竹ハンドル製造メーカーへの竹ラミナ供給 (H24～R3) ・県外竹ブラシ製造メーカーへの竹の柄供給 (H27～) <p>◆販路開拓及び新商品開発</p> <p>(株)コスモ工房</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社製品(弁当箱・盆・寿司台・机の天板など)の開発 (H21～) ・県外見本市・商談会等(ジャパンホームショー、ふるさと建材家具見本市等)への出展 (H21～) ・総合支援アドバイザーや県内事業者、県産学官民連携センター、工業技術センター、産業振興センターとの新商品開発に向けた協議 (H30～) ・竹ラミナを使用した高級ヘッドフォンの販売開始 (H30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内建具製造業者と新ブランドの立ち上げ (R2) (同)高知竹材センター ・シイラ漬け漁に用いる原竹の販売 (H30) ・竹製の住宅用フェンスの試作品開発 (R元) ・飛沫対策の竹製アクリル板立ての試作 (R2) <p><主な成果></p> <p>◆雇用の創出</p> <p>H24:5人(正規5人) → R3:17人(正規15人、パート2人)</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・原竹の仕入れ先維持・確保 ・県外見本市等出展後の販路獲得 (株)コスモ工房 ・自動車用竹ハンドルに替わる新たな自社製品の開発 (株)コスモ工房 ・新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動の停滞
---	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆原竹の集材体制の確立	<p>県全域から原竹を集材する仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(同)高知竹材センター： 原竹の安定的な集材 ●県(地域本部等)： 県内各地域への集材の呼びかけ(各集落活動センター、自伐林家等) 				
◆加工品製造の生産性の向上	<p>生産体制の確立・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)コスモ工房： 安定生産に向けた従事者の維持・確保 ●県(地域本部等)： 高知市や(一社)高知県移住促進・人材確保センター等と連携した従事者確保の支援 		<p>施設整備等の可能性の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)コスモ工房： 加工設備の導入及び加工設備の拡大の可能性の検討 ●県(地域本部等)： 各種支援制度の情報提供 		
◆販路開拓及び新商品開発	<p>新たな竹材の需要に向けた販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)コスモ工房： 各種展示会・商談会等への参加 ●(同)高知竹材センター： 竹製フェンスの製品化及び販売先確保 ●県(地域本部等)： 各種商談会等の紹介・情報提供 		<p>新商品の開発・製造</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)コスモ工房： 県産業振興センターや木材等関連事業者との連携・協議 ●県(地域本部等)： 産業振興アドバイザーの活用提案 		

AP名 (実施地域)	No.13 防災食の開発・製造・販売 (高知市)
実施主体	◎高知県食品工業団地協同組合の企業など
APへの 位置づけ	H25.4月
事業概要	南海トラフ地震に備え、地域産品を原材料とする防災食の製造販売を行うことで、防災産業の振興を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
防災食アイテム数	6 銘柄 (累計) (H30)	6 銘柄 (累計)	6 銘柄 (累計)		10 銘柄 (累計)

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域産品を原材料とする防災食の製造・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・防災関連商談会をはじめ、各種商談会への出展 (H25～) ◆産学官連携による研究・開発 <ul style="list-style-type: none"> ・県工業技術センターや県立大学との連携による防災食開発 (H25～) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防災関連商品の販売額 <ul style="list-style-type: none"> ・保存用ミレービスケット 200g 缶 H28 : 2,966 万円 → R3 : 3,327 万円 ◆県防災関連商品認定 2 銘柄 (R2 累計) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県工業技術センター等と連携した商品開発の継続 ・防災関連の商談会への出展による販路拡大 ・車載用ミレー缶の車用品店やディーラー等への販路開拓
---	--

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆地域産品を原材料とする防災食の製造・販売</p>	<p>県工業技術センター等と連携した新商品開発</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知県食品工業団地協同組合の企業： 防災食に適した原材料の掘り起こし及び商品開発 県工業技術センター等が導入した機器の積極的な活用及び大学等の研究機関と連携した新商品開発 ●県（地域本部等）： 防災食に適した原材料の情報提供、各種支援制度に関する情報提供 				
<p>見本市等への出展</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ●高知県食品工業団地協同組合： 防災関連商談会をはじめ、各種商談会への出展、車載用ミレー缶の車用品店やディーラーを対象を絞った営業活動 ●県（地域本部等）： 県地産外商公社等と連携した商談会情報等の紹介 					

AP名 (実施地域)	No.14 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上 (高知市)
実施主体	◎高知市、高知市商店街振興組合連合会ほか関係団体
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	高知市中心市街地活性化基本計画に基づき、多様な主体の参画のもとに、中核市として賑わいと活力ある中心市街地の形成を目指し、都市機能の増進と経済活力の向上を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 中心市街地の居住人口	5,215人 (H30)	5,490人	5,529人		5,290人
(2) 歩行者通行量(17地点・冬季・平日休日2日の合計)	121,330人 (H30)	75,866人	104,188人		123,278人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆高知市中心市街地活性化基本計画の推進

・高知市中心市街地活性化基本計画（第一期計画）の推進（H24.12月～H30.3月、計画登載57事業中55事業を実施）

⇒主な事業：新図書館の整備、新資料館整備事業、永国寺キャンパスの整備、帯屋町二丁目地区複合施設整備事業など

・高知市中心市街地活性化基本計画（第二期計画）の推進（H30.4月～R5.3月、計画登載60事業を実施中）

⇒主な事業：丸ノ内緑地整備事業、レンタサイクル事業観光案内所整備、帯屋町一丁目地区複合施設整備事業

◆高知市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ、計画の見直し

・高知市中心市街地活性化協議会の開催（H23～R4で計15回開催）

・内閣府への定期フォローアップ報告（H27～、毎月5月）

・高知市中心市街地活性化基本計画（第二期計画）の策定（H30）

・第三期高知市中心市街地活性化基本計画策定検討委員会の開催（R3.11/18、R4.3/30、6/6、9/9、11/8）

<主な成果>

◆高知市中心市街地活性化基本計画（第一期計画）
・計画登載57事業中55事業が「事業完了」または「事業実施中」（進捗率96%）

◆参考指標である「中心部の空き店舗率」及び「施設の入館者数」の目標達成

	指標	基準値	目標値	最新値
参考指標	中心部の空き店舗率	14.4% (H23)	13.4% (H29)	12.2% (H29)
	施設の入館者数	673,295人 (H21)	707,000人 (H29)	961,759人 (H29)

◆高知市中心市街地活性化基本計画（第二期計画）

・計画登載60事業中58事業が「事業完了」または「事業実施中」（進捗率97%）

<課題>

・高知市中心市街地活性化基本計画（第二期計画）登載60事業のブラッシュアップ

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆高知市中心市街地活性化基本計画の推進</p>	<p>計画登載 60 事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商店街・民間事業者等： <ul style="list-style-type: none"> ・帯屋町一丁目地区複合施設整備事業 商業店舗と住宅の複合施設整備（R元～3） ・高知大丸リニューアル事業 集客力向上のための改装及びポイントカードのリニューアル（H30～R4） ・商店街イベント事業（H30～R4）など ●高知市： <ul style="list-style-type: none"> ・丸ノ内緑地整備事業 憩いの場やイベント広場等への再整備（H30～R4） ・レンタサイクル事業（R2～4）など ●県(地域本部等)： <ul style="list-style-type: none"> 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用提案 				
<p>◆高知市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ、計画の見直し</p>	<p>高知市中心市街地活性化協議会の開催、定期フォローアップ、第三期計画策定に向けた検討委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知市： <ul style="list-style-type: none"> 内閣府への定期フォローアップ報告（毎年5月） 事業の進捗等による計画変更 第三期計画案の検討 ●高知市中心市街地活性化協議会： <ul style="list-style-type: none"> 定期フォローアップ報告及び計画変更に係る意見提出など ●県(地域本部等)： <ul style="list-style-type: none"> 活性化協議会への参加、活性化基本計画のフォローアップ 				

AP名 (実施地域)	No.15 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化 (高知市)
実施主体	◎高知市、◎出店者3組合ほか関係団体等
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創出し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 新規出店者数	12件 (れんけい市町村除く) (H30)	17件	11件		20件
(2) れんけい小間来客数	14,836人 (H30)	4,838人	3,582人		24,000人

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆街路市活性化構想の推進</p> <p>登載事業の着手(38事業/41事業着手済み：R3年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店者用トイレのレンタル(1か所・H27～) ・日曜市動画のインターネット発信(H28・H29) ・街路市情報のインターネット(Facebook)発信(H29～) ・街路市紹介外国語パンフレットの作成 (H28:英語、R元:中国語) ・高校や大学による日曜市での活動協力: 高知大サンデー・マーケットサポーターズ(H21～30)、 高知商業高校(H23～)、県立大(H27～) <p>段階的な出店基準の規制緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1弾(H28)：手作り食品製造者及び手作り工芸品等製造者による出店 ・第2弾(H30)：グループによる出店及び固有店舗を1店舗保有する個人事業主の出店 ・第3弾(R元)：件数を限定した火気使用を伴う調理食 ・第4弾(R4)：仕入れ商品販売者の出店(店舗数限定) 	<p>◆街路市活性化構想のフォローアップ、計画の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路市活性化構想推進委員会の開催 H27から毎年度1回開催し、事業の進捗管理及び翌年度実施事業についての検討を実施するとともに、必要に応じた計画の見直しを実施 <p>◆れんけいこうち日曜市出店事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れんけいこうち日曜市出店事業 (H30～れんけい市町村8小間) <p><主な成果></p> <p>◆出店基準の緩和による新規出店者数の増加 (基準緩和による増:33件(H28～R3))</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者不足や高齢化等による廃業者数(毎年20件前後)を埋めるための新規出店者の確保 ・街路市活性化構想41事業のフォローアップ及び計画見直し ・更なる規制緩和の検討 ・次期活性化構想の策定 ・れんけいこうち日曜市出店事業を活用したPR促進 ・新型コロナウイルス感染症の影響による来場者の減少
--	--

第4期計画における工程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
街路市活性化構想の推進	街路市活性化構想の推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市(産業政策課) : 活性化構想(H26~10年計画)記載の41事業の実施・継続、出店基準の規制緩和等 ●出店者3組合ほか関係団体等 : 街路市出店による活性化構想の事業実施 ●県(地域本部等) : 各種支援制度に関する情報提供、アドバイザーの活用提案 				
街路市活性化構想のフォローアップ、計画の見直し	街路市活性化構想のフォローアップ、計画の見直し				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市(産業政策課) : 高知市街路市活性化構想推進委員会の開催(年1回) 活性化構想の進捗管理及び翌年度実施事業の検討 ●出店者3組合ほか関係団体等 : 事業の見直し、計画変更等の協力 ●県(高知市地域本部) : 街路市活性化推進委員会への参画 			次期活性化構想の策定	
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市(産業政策課) : 次期活性化構想(R7年度~)の策定 ●出店者3組合ほか関係団体等 : 次期活性化構想策定への参画 ●県(高知市地域本部) : 次期活性化構想策定に向けた推進委員会等への参画 				
れんけいこうち日曜市出店事業の推進	れんけいこうち日曜市出店事業の推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市(産業政策課) : 日曜市全体の来客数増加に向けた「れんけいこうち日曜市出店事業」の持続発展 ●れんけい市町村(33市町村) : 単独出店や輪番出店の継続による市町村の観光PRと地場産品のPR ●県(各地域本部) : れんけい市町村小間の輪番出店調整 				

AP名 (実施地域)	No.16 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進 (高知市)
実施主体	◎高知市、城西館等
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	周辺市町村等とのネットワークを強化し、情報発信機能の強化やPR活動の充実、着地型観光の周遊ルートづくりを行うことによって、宿泊客の増加を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数	116万人 (H30)	80万人	77万人		121万人

※暦年

これまでの主な動き

＜これまでの取り組みの内容＞

◆広域観光の推進

- ・れんけいこうち外国語観光案内システム「tosatrip」の運用（H30.3～）
- ・れんけいこうち観光案内所「こうち観光ナビ・ツーリストセンター」の運営（H30.3～）
- ・R2年度までに造成した旅行商品（12コース）の販売及びセールスプロモーション（R3～）
- ・広域観光ルートのプロモーション動画制作（R4）
2本（ダイジェスト版・本編版）×12コース
- ・各地域の集落活動センターや周辺地域との連携によりとさ恋ツアーの新商品を開発（H25～30）
- ・産振補助金（ステップアップ事業）を活用し、城西館の「とさ恋ツアー」の新パンフレット及び多言語HPを作成（H26）
- ・「とさ恋ツアー」の新商品開発にかかる関係者協議（H28～30）

＜主な成果＞

◆広域観光の推進

- ・れんけいこうち外国語観光案内システム利用者数
6,345人（R4.1～11）
- ・こうち観光ナビ・ツーリストセンター利用者数
7,375人（R4.1～11）
- ・旅行会社発行の紙・Web媒体への旅行商品掲載数
27商品（R4.4～9）

＜課題＞

- ・「tosatrip」は、利用実績が低調であるとともに、リピート率が10%を下回っている。
- ・観光案内所が中心商店街における広域観光案内窓口としてより広く認知される取組が必要。
- ・動画については、プロモーション費用が計上されていないため、今後発信方法の検討が必要。

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆ 広域観光の推進</p>	<p>観光案内システムやツーリストセンターを活用した県内全域への周遊促進</p>				
	<p>●高知市： 観光案内システムの運用（情報追加、不具合改善、利用促進のためのPR等）、ツーリストセンターの運営（県内全域の観光・交通情報提供、各種サービスの提供、市町村PRイベントの実施等）※観光案内システムの運用については、R5年度から休止</p> <p>●県(地域本部等)： 各種支援制度の情報提供及び提案</p>				
<p>広域観光ルートの造成と効果的なプロモーションの継続</p>					
<p>●高知市： れんけいこうち広域都市圏観光客動態調査により得られたビッグデータを活用し、新たな周遊ルートやターゲット等に応じた効果的な旅行商品の造成及びプロモーションの実施</p> <p>●県(地域本部等)： 各地域の観光情報提供及び橋渡し</p>					

AP名 (実施地域)	No.17 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展 (高知市)
実施主体	◎高知市、◎(公社)高知市観光協会、そのほか関係団体等
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	年間を通じてよさこいの魅力を向上させることにより観光客の誘致を図るとともに、「よさこい」発祥の地としての地位の確立・ブランド化に取り組む。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) よさこい祭り来場者数	115万人 (R元)	- よさこい祭り中止のため	- よさこい祭り中止のため	- ※特別演舞として開催	120万人
(2) 高知よさこい情報交流館入館者数※	56,638人 (R元)	23,752人	18,835人		60,000人

※暦年

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆よさこい祭りの運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止対策会議の実施 (R4) ・「2022 よさこい鳴子踊り特別演舞」開催 (R4.8月) ・よさこい運営強化への取り組み (H29～) 振興会・県・市での検討会、競演場との意見交換 ・運営マニュアルの作成 (H30) <p>◆高知よさこい情報交流館の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知よさこい情報交流館オープン (H25) ・はりまや橋商店街と連携してよさこい鳴子踊りの披露 (H25～) ・企画展開催 (H25～) ・体験プログラムの実施 (H25～) ・高知よさこい情報交流館展示スペース拡張 (H27) <p>◆県外のよさこいでの観光PRの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外よさこい祭りにてよさこいのPR活動 (H27～) 「原宿表参道元氣祭スーパーよさこい2022」 「YOSAKOI させぼ祭り」 ・福井市や京都市でのよさこい披露によるPR (R4) ・台湾・高雄市でのよさこい披露によるPR (H29～) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2022 よさこい鳴子踊り特別演舞」の開催 参加チーム 96チーム 踊り子 約6,600人 来場者 約31万人 ※第69回よさこい祭りは中止としたが、規模を縮小し開催した特別演舞には、多くの方に参加いただいた。 ・菜園場競演場に土佐学生よさこい実行委員会がボランティア参加 (R1.8月) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の徹底や高額な対策費など、引き続きコロナ禍での開催方法に課題があるほか、各会場の運営について資金や人手の不足がより顕著となっている。 ・学生ボランティアによる会場支援がコロナの影響により中断している。 ・コロナの影響もあり、よさこい踊り体験及び鳴子づくり体験者数が、コロナ前と比較して減少している。 ・コロナ禍でのよさこい祭り開催に向けて、感染症対策への取り組み

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆よさこい祭りの運営体制の充実	関係団体との連携の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市： よさこい祭振興会・県・市での検討会の開催、各競演場との意見交換会の開催、競演場運営への学生ボランティアの参画推進 				
◆高知よさこい情報交流館の充実	館内展示物の見直し				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(公社)高知市観光協会： 館内展示物の定期的な入れ替えや資料更新、よさこいに関する寄贈物の保管 ●高知市： 見直しや更新についてのアドバイス、WEBによる展示情報や寄贈物受入に関するPR支援 				
	体験プログラムの拡充と「交流の場」としての機能拡張				
<ul style="list-style-type: none"> ●(公社)高知市観光協会： 既存の体験プログラム（正調よさこい鳴子踊り体験、オリジナル鳴子づくり）の改良、新規体験プログラムの企画・検討・導入、よさこい愛好者にとつての「交流の場」としての空間展開やイベント等の企画・検討・導入 ●高知市： 企画・検討段階におけるアドバイス、WEBによるPR支援 見直しや更新についてのアドバイス、展示情報や寄贈物受入に関するPR協力 					
◆県外のよさこいで観光PRの強化	県外よさこい団体との連携の強化と拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市： よさこいを通じた県外団体との協力関係の強化、新たな団体との協力関係の構築、県外よさこいイベントにおける観光PRブースの出展 				
<p>【用語】・2020よさこいで応援プロジェクト実行委員会：高知県国際観光課が主体となり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開閉会式等でのよさこい演舞の実現や、全国各地のよさこいにより同大会を盛り上げていくことを目的に設立された団体で、2019年7月現在37都道府県92のよさこい団体が加盟</p>					

AP名 (実施地域)	No.18 桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興 (高知市)
実施主体	◎高知市、◎(株)はりま家、民間事業者
APへの 位置づけ	R2.4月
事業概要	県内最大の観光施設である桂浜公園を、自然景観と歴史資源を生かした学びや憩い、楽しみが溢れる公園として整備し、国内外からの観光入込客数の増加を図る。 また、桂浜公園の魅力アップによる集客効果にあわせて観光案内機能を強化することにより、県内各地への周遊を促進する。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
桂浜公園来園者数※	649,096人 (R元)	384,589人	344,547人		800,000人

※暦年

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆桂浜公園整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂浜公園整備基本構想策定 (H27) ・桂浜公園整備基本計画策定 (H28) ・桂浜公園整備手法等調査実施 (H29) ・大規模施設整備には初期投資がかかる反面、津波等のリスクがあるため、既存売店のリノベーションの実現可能性についての検討 (H30) ・既存売店のリノベーション実施に向けた耐震診断及び不動産鑑定評価を実施 (R元) ・観光施設等緊急整備事業費補助金の交付決定 (R2) ・公的施設(休憩所等)整備の実施 (R3) ・耐震補強工事実施(A~D棟) (R3) ・桂浜公園指定管理者の指定 (R3) ・桂浜公園指定管理者による商業エリアのリノベーション(R4.10月プレオープン、R5.3月グランドオープン予定) <p>◆船着き場整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計の作成 (R元) ・設置工事 (R2) ・桂浜防波堤内に整備予定の栈橋について関係者協議 (R4~) 	<p><主な成果></p> <p>桂浜公園来園者数 530,264人 (R4.1~11) ※R4.11.13(龍馬まつり)は駐車場無料開放としたため、来園者数カウントに含まない。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在時間の短さ ・大型連休時の道路渋滞 ・桂浜栈橋の活用

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
◆桂浜公園整備	既存売店の耐震補強設計・工事		リノベーション	活性化を図る取り組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市： 耐震補強設計・工事 ●県(地域本部等)： 高知県観光拠点等整備事業費補助金の活用支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者： 建物（商業エリア）のリノベーション ・R4.10月 プレオープン ・R5.3月 グランドオープン 	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市・指定管理者： 活性化を図るイベント等の実施 県内市町村のPRイベント等の実施 観光案内機能の充実 ●県(地域本部等)： 高知県観光拠点等整備事業費補助金の活用提案 			
	指定管理者募集要項作成・選定					
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市： 募集要項作成 民間事業者サウンディングの実施 指定管理者公募・選定 					
	公益施設整備		公益施設整備（展望台整備、樹木剪定等）			
	<ul style="list-style-type: none"> ●高知市： 県補助金を活用した公的施設整備の前倒し（観光案内所・バス待合所の整備、休憩所整備、トイレリニューアル、園路の整備、サイン整備、Wi-Fi整備） ●県： 高知県観光施設等緊急整備事業補助金の創設 		<ul style="list-style-type: none"> ●高知市： 展望台整備、樹木選定等 ●県(地域本部等)： 高知県観光拠点等整備事業費補助金の活用提案 			
◆船着き場整備	設置工事		観光遊覧船の桂浜寄港地発着運航			
	<ul style="list-style-type: none"> ●県(地域本部等)： 船着き場の設置工事 		<ul style="list-style-type: none"> No.19 浦戸湾を活用した観光の振興の取り組みによる 			
<p>【用語】</p> <p>・サウンディング：事業発案段階や事業化段階において、事業内容や事業スキーム等に関して、直接の対話により民間事業者の意見や新たな提案の把握等を行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法</p>						

AP 名 (実施地域)	No.19 浦戸湾を活用した観光の振興 (高知市)
実施主体	◎(株)土佐レジン
AP への 位置づけ	H21.4月
事業概要	浦戸湾を活用した観光遊覧船の取り組み等により県内外からの観光客の誘客を図る。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
観光遊覧船の乗船客数	1,064人 (H30)	551人	824人		5,000人

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p>◆周辺地域の団体や事業者と連携した遊覧コースの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな発着場での運行開始 (H29) ・幕末維新博に合わせた船内アナウンスの充実・改善 (H29) ・大手旅行会社とクルーズツアーの契約 (H29) ・乗船客へのアンケート実施 (R元) ・桂浜新棧橋設置 (R2) ・コンベンション協会によるツアーの造成 (R2~) ・遊覧船コースのPRと運航における安全性の確立と効率化のためのシステム構築 (R3) →R3 産振補助金(ステップアップ事業)の活用 (事業費 339万円) ・桂浜発着コースの安全運航に向けたトライアウトの実施 (R4 : 6月2回、10月1回) <p>◆観光客に向けたPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS、HPによる情報発信 (H27~) ・「さんしん GO !」による広報活動 (H29.3月) (R2.10月) ・「土佐の夏フェス」、「御置瀬祭」にて浦戸湾ワンコインクルーズの実施 (H29~) ・第70回関東高知県人大懇親会でのパンフレット配布 (H30) ・各テレビ局での生中継 (R3) : 2回 ・TVCMを活用した情報発信 (R4.9月) 	<p>◆運行回数</p> <p>H29 : 241回 H30 : 175回 R元 : 207回 R2 : 110回 R3 : 142回</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂浜発着コースの安全性向上と安定運航 ・誘客のための情報発信 ・桂浜護岸整備工事による小型旅客船発着場整備後の運航に向けた調整

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ 周辺地域の団体や事業者と連携した遊覧コースの拡充	桂浜寄港地での新コース運航				
	遊覧コースの拡充				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)土佐レジン： 運航実施手順の作成、桂浜寄港地での運航 ●県（地域本部等）： 浦戸湾全体を使った周遊コース作成のための産業振興アドバイザー活用について提案 		<ul style="list-style-type: none"> ●(株)土佐レジン： スタッフ増員による運営体制の強化等 ●県（地域本部等）： 各種支援制度の情報提供及び提案 		
	桂浜公園との連携による商品開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)土佐レジン、高知市、県（地域本部等）： 桂浜公園内事業者や公共交通機関等と連携した遊覧コースの開発 ●高知市、県(地域本部等)： 遊覧コース開発の支援 				
◆ 観光客に向けたPR活動	新商品のプロモーション活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)土佐レジン： 観光情報誌への掲載、旅行会社との連携 ●県（地域本部等）： さんしんGO!でのテレビ放送、龍馬パスポートと連携したPR 				
	HP・SNSを活用した観光客の獲得				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)土佐レジン： 新コースに合わせたホームページ・パンフレットの作成、SNSでの情報発信 ●県（地域本部等）： Twitter等の県の情報発信ツールを用いたPR活動 				
	イベントへの参加				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)土佐レジン： イベント参加による遊覧船の知名度の向上 ●県（地域本部等）： イベント参加のサポート 				

AP名 (実施地域)	No.20 土佐の偉人を生かした観光の振興 (高知市)
実施主体	◎指定管理者（龍馬の生まれたまち記念館：シダックス大新東ヒューマンサービス(株)、自由民権記念館：伊予鉄総合企画(株)）、◎高知市、◎(公社)高知市観光協会、(特非)土佐観光ガイドボランティア協会、長宗我部連絡協議会等関係団体
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	坂本龍馬をはじめとする土佐の偉人ゆかりの地の魅力を高め、県外に情報発信するとともに、歴史、文化、町並みや食などを活用した「まち歩き」を充実させることにより県内外からの観光客の誘客につなげる。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 土佐っ歩への参加人数※	1,195人 (H31.1～12月)	785人	774人		1,350人
(2) 自由民権記念館常設展観覧者数※	9,739人 (H28～30平均)	4,282人	5,686人		10,000人
(3) 龍馬の生まれたまち記念館入込客数※	45,978人 (H30.1～12月)	20,132人	15,214人		50,000人

※暦年

これまでの主な動き

これまでの取り組みの内容	主な成果
<p>◆「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースリニューアル（H21～） <p>◆土佐の偉人関連イベントの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍馬生誕祭の開催（毎年） ・龍馬に大接近の実施（毎年） ・龍馬まつり in 桂浜の実施（毎年） <p>◆土佐の偉人ゆかりの地の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍馬の生まれたまち記念館のパンフレット作成及び展示物の外国語ガイド開始（H22） ・長宗我部関連マップの作成、配布（H22～） ・瑞山記念館リニューアル（H22） ・瑞山記念館来館者用トイレ整備（H25） ・龍馬の生まれたまち記念館一部リニューアル（VR施設を拡充等）（H28～29） ・県立坂本龍馬記念館リニューアル（H30） 	<p>◆「龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～」の新コース開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに開発したコース数：24コース(H21～R3累計) <p>◆土佐の偉人関連イベントの来場者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍馬生誕祭来場者数 H29：455人 → R3：2,967人 ・龍馬に大接近来場者数 H29：66,048人 → R4：40,646人 (4/2～5/29：20,464人、9/17～11/13：20,182人) ・龍馬まつり in 桂浜来場者数 H29：9,000人 → R4：4,000人 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土佐っ歩」全コースを案内できるガイドの減少 ・「土佐っ歩」の原則事前予約とする参加方法の見直し・検討 ・龍馬の生まれたまち記念館の企画展等の充実

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆「龍馬の生まれ れたまち歩き～ 土佐っ歩～」の 魅力向上	<p>観光客のニーズに対応したコースの見直し・新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(特非)土佐観光ガイドボランティア協会： ガイド実施時における利用者のニーズの把握、既存コースの改良、新コースのコンセプトづくりとコース検討、土佐っ歩ガイドの実施 ●高知市： 既存コースの改良や新コース検討における協議、土佐っ歩パンフレット制作、WEBによるPR 				
◆土佐の偉人関 連イベントの充実	<p>坂本龍馬、長宗我部元親などの土佐の偉人関連イベントの実施、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(公社)高知市観光協会、長宗我部連絡協議会等 龍馬に大接近(春・秋)、長宗我部まつり、龍馬生誕祭、龍馬まつり in 桂浜等イベントの企画提案・実施、関連団体との連携、WEB・SNSによるイベントのPR ●高知市： 企画・提案に対するアドバイス、関連団体への橋渡し、WEB・SNSによるイベントのPR支援 				
◆土佐の偉人ゆ かりの地の魅力 向上	<p>【龍馬の生まれまち記念館】【自由民権記念館】企画展の充実、PR活動の推進</p> <p>龍馬の生まれまち記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者： 企画展を多数開催するとともにワークショップ等も充実させ、SNS等で発信 ●高知市： WEB・SNSによるイベントのPR支援 ●県(地域本部等)： 「リョーマの休日キャンペーン」地域イベント等支援事業費補助金等の活用支援 <p>自由民権記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者(伊予鉄総合企画(株))： ワークショップ・講座の開催、SNSによる広報 ●高知市： 「リョーマの休日キャンペーン」地域イベント等支援事業費補助金を活用した企画展(2回)の開催(R2) ●県(地域本部等)： 「リョーマの休日キャンペーン」地域イベント等支援事業費補助金等の活用支援 <p>関連史跡等 の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知市： 板垣退助の墓駐車場を整備(R2) ●県(地域本部等)： 高知県観光拠点等整備事業費補助金の活用提案 				

AP名 (実施地域)	No.21 食による観光の推進 (高知市)
実施主体	◎土佐のおきゃく推進会議、◎土佐の豊穰祭実行委員会、(公社)高知市観光協会ほか
APへの 位置づけ	H21.4月
事業概要	高知市内で開催される「おきゃく」や「豊穰祭」などの食イベントを定着・充実させること等により高知の強みである「食」を生かした観光を推進する。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1) 土佐の豊穰祭 入込客数 (高知会場)	34,316人 (R元)	15,128人	10,852人	16,545人	50,000人
(2) 土佐のおきゃく 入込客数	73,892人 (R元.3月)	- 中止	- 一部オンライン開催 (R3.3月)	54,145人 (R4.3月~7月)	80,000人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

- ◆食のイベントの定着・充実
 - ・「土佐のおきゃく」の開催
 - ・「土佐の豊穰祭」の開催
- ◆食に関する情報発信
 - ・食のイベントのポスター及びパンフレットの市内観光地・
県外観光客への配布
 - ・HPやSNSを用いた高知の「食」紹介
- ◆コロナ禍における開催への支援
 - ・新型コロナウイルス感染症対策強化への補助支援

<主な成果>

- ・土佐のおきゃく 2019 経済波及効果：8.5 億円
- ・土佐のおきゃく 2022：新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、通常開催は難しかったが、分散開催やオンラインなど開催方法を工夫して実施できた
(R4.3月~7月)
- ・土佐の豊穰祭 2022：16,545人
 - 11/5(土)：7,101人
 - 11/6(日)：9,444人

<課題>

- ・日帰り客が多く、宿泊客数が少ないため、宿泊者数の増加に繋がる手法を検討する必要がある
- ・若い女性の参加が少ないため、若い女性の参加を促す内容や広報の検討が必要

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
<p>◆春の「おきゃく」や秋の「豊穰祭」など食のイベントの定着・充実</p>	<p>「おきゃく」や「豊穰祭」などイベントの継続的開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土佐のおきゃく事務局・土佐の豊穰祭推進会議事務局： 利用者のニーズ把握、出店団体の意見・要望の把握、他イベントとの連携や新規事業の検討 ●高知市： 推進会議への参加 				
<p>◆食に関する情報発信</p>	<p>県内外へのPR活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土佐のおきゃく事務局・土佐の豊穰祭推進会議事務局： チラシ、ポスター等の配布やSNSでの情報発信、新聞やテレビCMでの宣伝 ●高知市： HPやインスタ等SNSによる情報の発信、高知市食育推進委員会が発行する食育だよりでの「おきゃく」、「豊穰祭」の紹介、県外イベントでのポスター掲示やチラシ配布 				